

清水町 議会だより



沼津商業高校生徒会と
グループディスカッション
(P2・P3 に記事を掲載)

高校生にアイデアを聴く 清水町をさらに魅力的なまちにするには …	2
ワクチン3回目接種 2月から …	4
一般質問 6人が町政を問う …	6
2022新成人 はたちの抱負 …	12

高校生にアイデアを聴く

テーマ

清水町をさらに魅力的なまちにするには

広報広聴委員会では、若い世代、特にこれから有権者になる高校生の意見や考えを聴くことを目的に、毎年、沼津商業高校生徒会と懇談をしています。

今回は、令和3年12月16日に「清水町をさらに魅力的なまちにするには」をテーマに、3つのグループに分かれ、議員と一緒にグループディスカッションを行いました。

清水町を住みやすくするには？

まちづくり

沼津や三島に近くて
買い物に便利

町民と協力して「自
慢したくなるような
町」にする

住みやすさ=近所付
き合い

絶景スポットをつく
る



いいシヨクゼー
いねん施設も

柿田川でイベントを

柿田川公園で高校の
部活（吹奏楽、ダンス、
和太鼓など）が出る
イベントをする

ゆうすいくんと地元
企業のマスコットで
コラボ

柿田川を舟で見られ
るように

公園内にキッチン
カーを

柿田川以外の
魅力も発信で
きたら…

交通の利便性

交通量が多い割に道
路が狭い

横断歩道を増やす

バスの利便性をあげ
る

沼津や三島への直行
便を安い料金で

駅があったらよい



清水町の産業・観光を 発展させるには？

開催したいイベント

ゆうすいくんを使っ
たスタンプラリー

清水町ラーメンフェス
ティバルや
肉フェスティバルを開催

国道1号沿いの店で
競い合うコンテスト

丸池の桜並木をラ
イトアップ

冬にはイルミ
ネーションも

特産品を使って

特産品を使ったスイー
ツを出してくれるゆっ
くりできるカフェ

親子連れで行ける
ゆうすいくんのレ
ストラン

緑米を使って餅をつ
くる

水辺を活かして

柿田川の近くに、目
印になるような施設
をつくる

川を渡るのではなく、
川を進む橋をつくる

浄水場施設を見学で
きるように

狩野川を利用した
プールをつくる

なりたい職業を聞いてみました

- ・サービス業
- ・結婚式場関係
- ・クルマ関係
- ・服飾系
- ・子どもの福祉関係
- ・パソコン事務
- ・病院勤務
- ・テーマパーク勤務
- ・看護師
- ・保育士

生徒会のメンバーの
うち、清水町在住の生
徒は3名。みなさん、
自分の住んでいる所
や、通学しながら見た
清水町をイメージし
て、自由に思い思いの
意見を言葉にしてくれ
ました。

やはり、柿田川を観
光やイベントに、とい
う声が多く、また、ラ
イメンフェスティバルを
推すアイデアもそれぞ
れのグループから出さ
れました。

若者の意見を聞くだ
けでなく、これから実
現させられるかどう
か、大人の本気度が試
されます。

ワークショップを終えて

接種 2月から

11月定例会

令和3年第4回定例会を11月30日から12月17日までの18日間にわたり開催しました。

出産育児一時金の支給額を増額するための清水町国民健康保険条例の一部改正や道路占用料の改定を行うための条例改正、一般会計・特別会計補正予算など8議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。(全員賛成)

一般質問では、6人の議員が質問しました。

条例改正

出産育児一時金の増額

総支給額42万円を維持するため出産育児一時金を増額する。

(出産育児一時金+産科医療補償制度掛金=総支給額)
改正前 40万4千円+1万6千円=42万円
改正後 40万8千円+1万2千円=42万円

問 出産育児一時金の額が産科医療補償制度に加入している分娩機関で出産した場合は42万円、そうでない場合は40万8千円となるようだが、この違いは。

答 これまで出産育児一時金の額は40万4千円だった

が、産科医療補償制度に加入する分娩機関で出産した場合には補償を受けるための掛金分1万6千円を加算し、総支給額として42万円を支給してきた。今回、産科医

療補償制度の掛金が1万2千円に減額となり、総支給額が減額となるところだが、少子化対策の重要性に鑑み総支給額は42万円を維持すべきとされたことを受け、減額分4千円を出産育児一時金の額に増額した。

問 出産する側にとっては産科医療補償制度に加入している施設かどうかは分かりにくいと思うが、その点を被保険者に提示しているのか。



答 医療機関であれば通常産科医療補償制度の掛金を掛けて運営している。

問 出産育児一時金の直接払いの制度をどれだけ周知しているのか。

答 被保険者に配付しているパンフレットに記載されており、医療機関側からも出産育児一時金の制度を紹介していただけているものと認識している。

補正予算

子育て世帯等臨時特別支援

国のコロナ克服・新時代開拓のための経済対策の一環として、高校生以下の子どもに対し一人当たり5万円の先行給付金を給付。
2億5000万円

児童手当システム改修

児童手当法の一部改正に伴うシステム改修費

176万円

児童手当の額 (1人あたり月額)

収入額の目安	現状	令和4年10月支給分以降
年収1200万円以上	一律5000円	廃止
(特例給付) 年収960万円以上 1200万円未満		5000円
年収960万円未満	0歳～2歳 15000円 3歳～小学生 10000円 (第3子以降は15000円) 中学生 10000円	現状と変更なし

問 令和4年度から施行される児童手当法等の一部改正の内容は。

答 児童手当法の特例給付対象者のうち、所得が一定額以上の方については、令和4年10月支給分から特例給付が支給対象外となる。また、児童手当の現況届について、令和4年度分から一律の提出義務を見直し、公簿等で現況届の内容を確認することができるとした場合、原則不要とするもの。

(注) 表中の年収は、扶養親族が3人の場合です。実際は、給与所得控除等を控除した後の所得額で所得制限を確認します。

ワクチン3回目

ワクチン接種

新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る10月及び11月分の事務経費（第6回補正予算） 843万円
令和4年2月から予定している新型コロナウイルスワクチン接種3回目に係る経費（第7回補正予算） 5700万円

問 新型コロナウイルスワクチン接種は3回目の接種に向けた準備も始められていると思うが、前回の接種時には高齢者の予約についてかなりの苦情が入ってきたと思う。予約方法などの改善点は。

答 接種券については、2回目の接種から概ね8カ月後を目安として順次分割で発送することに加え、保健センターは平日、防災センターは月曜日の午前中に予約専用特設窓口を設けるなど、予約に混乱を招かないよう改善していく。

問 勤務の総時間数は。

答 10月末までの7カ月間で、延べ321人の職員が約2829時間の時間外勤務を行っている。内訳として、担当課である健康づくり課職員が2024時間。担当課以外の応援職員が805時間。

問 現在、保健師が9名で通常より1人少ない状況である。専門的な資格を持つ職員の確保は重要な課題と認識しているが、町の考えは。

答 来年度の新規採用で保健師を募集したが確保できなかった。専門的な資格を持つ職員については随時募集をかけ、新卒のみならず経験者も含め募集していく必要があると考えている。

問 新型コロナウイルスワクチンの接種業務に係る時間外

ふるさと納税

問 歳入の寄附金では使途が決まっている300万円余を計上したようだが、一般寄附とふるさと納税のそれぞれの件数と額は。

答 一般寄附については1件で1万円。ふるさと納税については、個人分が399件で241万9千円であり企業分は2件で60万円である。



ふるさと納税寄附額の実績

2014年度	5件	110万円
2015年度	105件	343万円
2016年度	183件	269万円
2017年度	166件	236万円
2018年度	178件	250万円
2019年度	205件	281万円
2020年度	342件	470万円

清水町の返礼金（一部）

- ・特選国産うなぎ蒲焼真空パック
- ・ラーメン3食セット
- ・ところてんで作ったあんみつ
- ・自家焙煎珈琲
- ・柿田川野菜 3種のレタス詰め合わせ
- ・清水町産 お米
- ・柿田川富士山百年水

一番人気

問 歳出で計上している報償金270万円はふるさと納税の返礼品調達費とのことだが、ふるさと納税による寄附額が約300万円ということは、そのほとんどを報償金として使うということか。

答 当初予算では、年間のふるさと納税による寄附額を300万円と想定し国が定める返礼品割合3割を乗じた90万円の報償金を計上していたが、

11月末における寄附額が800万円余となっており、このまま推移した場合、年間で1200万円の寄附額が見込まれるため、返礼品調達費の不足分として270万円を計上した。

6人が町政を問う

「一般質問」とは、行財政全般にわたる議員主導による政策の議論です。

感染予防対策として発言席にアクリル板を設置しています。

問 創業支援は商工会との連携で

答 三者で担っていくことが肝要



大濱 博史

して開始した。創業支援関連事業は、本町における地方創生の重要な施策の一つとして位置付けている。

問 創業支援等窓口運営業務を委託とした理由は、

答（産業観光課長） 今後町の産業観光振興を推進する上で、今までの町と商工会との連携以上に新たな創業支援の担い手となる推進組織を設置し、専門的な人材による戦略的な事業展開が必須であ

問 平成29年度から町が創業支援関連事業を始めた理由と位置付けは。

答（産業観光課長） 第4次清水町総合計画における企業や後継者の育成などの産業の活性化支援、新たな産業の創出等に取り組む基本事業の一つと



ゆうすい未来機構における創業相談

るといふ意見に基づき、国から認定連携創業支援等事業者として新たに認定を受け設立された一般社団法人「清水町ゆうすい未来機構」に、本事業を委託した。

問 本事業の委託料、創業者数と税収は。

答（産業観光課長） 委託料は、平成29年度996万円、30年度1200万円、令和元年度1506万円、2年度1599万円、創業支援等窓口の相談業務を利用し創業した事業者数は12件、創業した事業者主からの直接的な税収は20万円余である。

問 産業創出支援事業費補助事業を導入した理由と事業費、利用者数と税収は。

答（産業観光課長） 新規

創業が増加することで雇用の確保や将来的な税収の維持・拡大が図られると共に、住民生活の利便性向上など、町の産業や経済全体の底上げに貢献するものと考え導入した。

産業創出支援事業費補助金を利用した事業者数は23件、事業費は、平成30年度200万円、令和元年度438万7000円、2年度は1212万7000円、3年度は100万円を予算計上した。事業主からの直接的な税収は約70万円である。

問 創業支援関連事業は、町と商工会が連携して取り組むことが効率的と考えるが、町の考えは。

答（産業観光課長） 町、商工会、委託先のゆうすい未来機構が、最適な支援ができるようそれぞれ

の役割や特長を生かしながら、創業支援相談窓口等の事業を担っていくことが肝要であると考えている。

問 来年度以降の創業支援関連事業の在り方は。

答（町長） 委託事業、補助事業に限らず全ての事業について、有効性や効率性を含めた成果や支出を、事務事業評価シートにより検証した上で、翌年度の予算計上を行うこととしている。

創業支援関連事業についても、他の事業と同様に、有効性や効率性を含めた成果や支出を精査し判断したい。

質問者の動画が見られます



問 急傾斜地の安全対策は

答 国県指導のもと調査・研究



松下 尚美

問 土砂災害の危険のある地域に対し、町ではどのような対策を行っているのか。

答（くらし安全課長） ハザードマップ等で警戒区域に居住しているとの認識を持っていただくとともに、災害時には早めの避難を促している。このため、一定規模以上の地震や台風等による大雨の際には、早めの避難に備え消防署や地元消防団、町職員等によるパトロールを実施し情報収集を行うとともに、地域と連携して避難所の確保と受入態勢を整えるなど安全確保に努めている。

問 災害から住民の生命財産を守るための事業として国や県の政策と一体になって急傾斜地の対策を行っていく考えはあるのか。

答（町長） 急傾斜地の対策事業を実施するためには、まず全体計画を作成していかなければならないため、今後、県等の指導をいただきながら調査・研究を進めていきたいと考えている。

健幸スポーツの駅

問 健幸スポーツの駅に指定する民間スポーツ施設は。

答（健幸づくり課長） 指定を予定している民間スポーツ施設は、スポウエル健身塾、フィットネスプラザ・スプラッシュ、メディカルフィットネスエム等である。

問 まち歩きアプリはどのようなものになるのか。

答（健幸づくり課長） ウォーキングのデータをグラフ化することにより日常の健康行動を可視化する機能や、血圧、体重、睡眠時間などを記録する健康管理機能を持つものを検討している。また、健康情報の通知やお勧めウォーキングマップの掲載、さらにはウォーキン

グの歩数で健康ポイントを付与することが可能な機能も備える予定である。

問 ゆうすいポイントとの連携はどのように行われるのか。

答（健幸づくり課長） アプリで歩数に応じて付与される健康ポイントを、ゆうすいポイントに交換できるように検討している。

町の緑化

問 公共施設の緑化として、まほろば館の屋上広場に緑の庭園を造れないか。

答（健幸づくり課長） 来館者が気軽に健康を体感できる場として、また親子で楽しく過ごせる場所として開放しているため全面的な緑化は難しいが、鉢植えの設置や一部の芝生化について今後検討する。

質問者の動画が見られます



まほろば館の屋上に緑の癒しを



が聞きたい

問 期日前投票の体制は適切だったか

答 改めて検証を行う



吉川 清里

答（総務課長） 障がい者や高齢者から寄せられた声については真摯に受け止め、期日前投票を行う際の流れなど改めて検証を行い、投票しやすい環境づくりに一層努める。

問 選挙公報を町ホームページに掲載してはどうか。

答（総務課長） 紙面よりも早く閲覧ができるホームページでの掲載を充実させることは選挙人の投票行動を促す上でも有効

問 10月の参院補選と衆院選挙は、投票日が近く、期日前投票所が混雑する中で、障がい者や高齢者が案内の不備でどんな扱いを受けた事例があったと町民から聞いた。期日前投票の場所や体制は適切だったか。



誰もが投票しやすい体制を

な手段と認識している。町ホームページに直接選挙公報を掲載することを含め効果的な方法を県選挙管理委員会に相談し検討する。

問 遠方で生活している学生等が投票できる不在者投票制度や、重度の障がい者等でも利用できる郵便投票制度をもっと周知すべきでは。

答（総務課長） 不在者投票制度は、手続に一定の時間を要し、公示あるいは告示後から手続を始めた場合は投票に間に合わない可能性もあるため、町ホームページに制度の紹介を常時掲載しているが、よりよい周知方法をさらに調査したい。

保育所待機児童対策は

問 昨年度末の待機児童数は103人だったが、今年度の待機児童数は。

答（こども未来課長） 令和3年12月1日現在の国基準による待機児童は3人発生し、その内訳は0歳児1人、1歳児2人。また、広義の待機児童は94人で、その内訳は0歳児41人、1歳児27人、2歳児21人、3歳児3人、4歳児2人。

問 10年前と比較した保育所入所者数の割合は。

答（こども未来課長） 平成24年度の27・4%に対し、本年度は40・8%とプラス13・4ポイントであり、特に1、2歳児の利用割合の増加が顕著であった。

質問者の動画が見られます



問 町立保育所2園は定員より入所者数が下回っているが、今後の待機児童対策は。

答（こども未来課長） 人材が不足している町立保育所の保育士を確保することにより受け入れ人数を増やすよう取り組む。

問 第5次総合計画の中で、待機児童対策をどう位置付けているのか。

答（町長） 町では、「子どもの成長や学びを地域全体で支えるまちへ」を達成するための重要な施策の一つとして位置づけ、待機児童の解消を図ることとしている。

問 交通弱者が利用しやすい循環バスに

答 よりよい運行方法を研究



森野 善広

問 循環バスを利用したくても利用できないとの意見が寄せられている。清水町は面積が狭い町だが、近くの個人店舗がなくなり、高齢者にとって買い物などが便利だとは言えなくなっている。循環バスの利用について

は、バス停までの距離が遠いなどの意見がある。高齢者など交通弱者が利用しやすい循環バスにしていく必要があるのでは。
答（くらし安全課長）バス停の設置場所、運行路線、時間帯など、地域公共交通会議や利用者アンケート等を通じて、よりよい運行方法について研究を重ねていく。



もっと利用しやすい循環バスに

外出支援

問 要介護者を含め外出が困難な方のために介護タクシーがある。要介護者でも、このタクシーの利用に介護保険が使えないケースがある。要介護者などが、安心して外出できるように支援が必要と考えるが、町の独自の取り組みは。
答（福祉介護課長）外出支援は、気分転換や心身の状態の改善に有効なため、介護保険適用外の介護タクシー利用支援などを近隣市町の状況や先進事例を参考に調査している。

生活保護制度のホームページ内容の改善を

問 コロナ禍で経済的に大変になったという方が多くいる。政府もそのような時は生活保護制度があると案内しているが、実際に行政側のハードルを下げて、受ける側の意識として、受けたくないという場合もある。それは、生活保護が、日本国民なら健康で文化的な生活が送れるという権利ではなく、自己責任の問題だという意識が根付いているからではないか。
答（福祉介護課長）社会保障は、生活を安定させる向上させる機能と、所得再分配機能、経済安定機能として重要なことである。受けたくないという意識も見られる生活保護制度において、救済状態になる前に、気軽に相談できるような表現に努め、ホームページの掲載内容をより一層充実させていきたい。

コロナ禍で国の基準も緩和されているので受ける側が早めに相談できるように、ホームページの内容を改善すべきでは。

質問者の動画が見られます



ここが聞きたい

問 町に対する要望の「見える化」を

答 今後の情報公開、情報発信の参考に



向笠 誠

問 現状、町への要望に対する回答は個々にされており、すべての町民が確認できる状態ではない。町ホームページで、いつでも誰でも要望の内容、場所、対応状況などの情報が見られるようにし、要望場所が地図上に

表示され、担当課や地区名などのキーワードを入れることにより検索できるようにし、対応完了までの流れを公開することは、行政の「見える化」につながり、ひいては協働・連携によるまちづくりの推進の一助になると考える。将来的に公開するべきでは。

答（企画課長） 多種多様な要望に対する進捗状況等の公表に随時対応していくことは、現状では難しいが、開かれた町政の

推進を図るため、行政の「見える化」については、今後の情報公開、情報発信の参考とさせていただきます。

江川の維持管理を

問 徳倉地区を流れる江川の一部区間において、樹木が水面上まで伸びている状態だが、町では江川の周辺環境を改善し、水害リスクの削減対策を行う考えがあるのか。

答（建設課長） 江川の維持管理の一部を、上徳倉区の方々にお願ひし、中流部では、町が除草やしゅんせつ作業を実施しているが、十分な対策を講じ切れていないことは、町としても認識している。さらに、江川の最下流には大平徳倉排水機場があり、樹木や草が河川へ流

れた際の影響も懸念している。今後は、江川下流部から中流部にかけての樹木の伐採、除草及び防草対策を実施し、いつ起こるかわからない水害に対し、速やかに対応できるように努めてまいりたい。

問 町が管理する河川の維持管理を今後どのように行っていくのか。

答（建設課長） 現在作成中の「清水町水災害対策プラン」では、ハード面での対策で「河川の樹木

伐採及び除草対策」や「河川の土砂掘削」について明文化することを考えている。町が維持管理する河川は多数あり、短期間で、そのすべての環境整備を行うことは困難であるため、様々な対策と合わせ水害リスクを軽減できるような、創意工夫を凝らしながら河川の維持管理を行っていききたい。

質問者の動画が見られます



清水町 町民の声・要望 公開システム

新着状況	
R3/12/08	突進中・工事中 ○○からの要望
R3/12/12	調査・協議中 ○○からの要望

地区名：○○区				
要望番号	要望内容	対応状況		
件数	地区	要望受付	現場確認	調査・協議
0件	0件	0件	0件	0件

見える化イメージ図（質問者作成）



早急に水害対策を（江川）

問 玉川卸団地線からの南進ルートの整備は

答 令和6年度頃から着手したい



佐野 俊光

問 都市計画道路玉川卸団地線からの南進ルートを検討することだが、具体的なスケジュールは、

答（建設課長） 令和6年度頃から事業着手できるような準備を進め、県が進める狩野川第三架橋の整備に合わせた南進ルートの完成を目指す。

問 南進ルートは整備延長も長く、この整備には解決すべき課題があると思うが、町が想定する課題、また、その対策は、

答（建設課長） 事業の計画延長は約一キロメートルと長く、そのうち新設改良区間は約560メー

トルあること、また、南端の県道との取付部は変則的な交差点となることが予測されるため、事業着手前に関係地権者、関係機関との十分な協議を行うための入念な準備が必要である。

問 第5次清水町総合計画に掲げる基本目標を実現するため、町東部地域、玉川卸団地線周辺のまちづくり及び南進ルートの整備に向けた町の考えは、

答（町長） これからが重要な時期であると認識しており、必要な時期に必要な予算を措置していく考えである。事業の実現に向け庁内組織の横断的な協力体制を構築し、地元の理解を得ながら一歩一歩着実に進捗を図りたい。

※ 自治体DX推進の考えは

問 自治体DXを推進する意義は。また、「自治体DX推進計画」の計画期間は、

答（企画課長） ICTを活用して住民の利便性を向上させるとともに、業務効率化を図り人的資源を行政サービスのさらなる向上につなげていくこと。期間は令和3年1月から令和7年度末まで。

問 自治体DXを進めるためには、職員の意識の醸成、専門的知識の習得が必要と考えるが、その方針は、

答（総務課長） 幅広い世代を対象とする職員研修を計画的に実施し、ICTに特化した潜在的な能力を有する職員を見定め、より専門的な研修に派遣

するなど職員の育成に努める。

問 近隣自治体でも「自治体DX」の推進に向けて動き出しているが、町の総合計画の中で「自治体DX」をどのように位置づけていくのか。

答（町長） 第5次総合計画において、基本目標6の「未来に責任のあるまちへ」を達成するための

施策として「情報戦略の推進」を掲げ、ICTの活用による業務の効率化と行政サービスの向上を目指している。

※自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）デジタル技術を活用した行政サービスの改革を進め、住民の生活をより良い方向へ変革する取り組みのこと。



自治体DXで行政サービスの向上

質問者の動画が見られます



2022



新成人

令和4年1月9日に催された清水町成人式。
今年は337人が成人を迎えました。
成人式実行委員の皆さんに抱負と町に対し
て期待することをお聞きしました。

はたちの抱負

出身中学 氏名

清水町に期待すること



スポーツが盛んな町に



住み続けたいくなる
あたたかい町に



ボール遊びができる
公園をつかってほしい!



帰りたくなる自慢のふるさとに



子育てしやすい町



いつまでも このままで。



安心して帰ることができる町



笑顔溢れる町



居心地のいい町

お知らせ

次の定例会は
3月1日
午前9時
開会予定です。

撮影のため一時的にマスクをはずしています。

編集後記

新しい一年が始まりました。本年もよろしくお祈りします。

今年も本格的な受験シーズンが始まりました。受験生の皆さんやご家族の皆様がこれまでの頑張りの成果が試されるタイミングです。でも、やはり最後には神頼みですかね。町内には、学問の神様菅原道真公をお祀りした「天神社」が戸田地区にあります。他にも柿田区の日枝神社に天神様のお社があります。コロナ禍で遠くの天神様にお願いが出来なくても、町内の神社へ合格祈願のお願いに出掛けたいかがでしようか。受験生の皆さんの桜が大きく咲きますようお祈りいたします。(秋山)

発行・編集責任者
議長 松浦 俊介
広報広聴委員会
委員長 吉川 清里
副委員長 山下 尚美
委員 秋山 治美
飯田 文博
山本 安雄
向笠 誠

この議会だよりは1万2700部
製作し、1部当たりの制作費は約
17円です。